
不動産開発



2022年～オフグリッドホテル展開可能性調査

オフグリッド居住モジュール展開

日本のベンチャー、ARTH社との協業

経産省のインフラFSに採択され現在調査中。2025年にホテルの開業を目指す



天井に太陽光発電パネルを設置。
大型蓄電池と、設計の最適化により、
100%の電気自給を目指す
(通常の太陽光パネル付住宅の電気自給率は約3割。7割は既存インフラに依頼)



水に関しても、既存インフラから独立。
シャワーは雨水を、トイレ排水は土壌
濾過を活用。汚水が排水として流れ
ないため、排水設備が不十分な離島
では、現地を極力汚さない仕組み



建物は**コンテナ**をベースに開発。
製造したコンテナを現地に運ぶこと
で、**現地での開発工事を最小化**
エネルギー効率最適化に向け、レ
イアウトや断熱材の厚み等を調整



宿泊は、**1日1組限定の特別な
宿泊体験**を提供。インフラのない
ような絶景を、独り占めできる。
加えて、「**環境に優しい旅**」という
新しい概念も提供できる

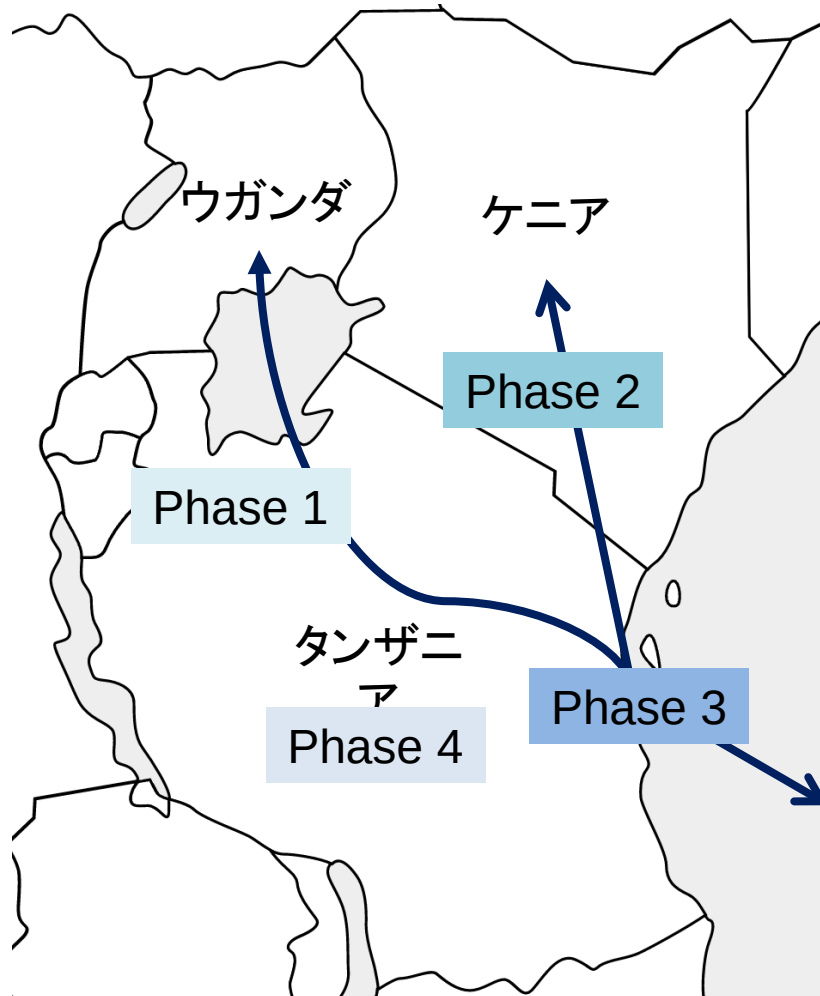
電気・(ガス)・水道を再エネや循環型機器で自給自足することで、既存インフラから独立した“オフグリッド”を実現

東アフリカ水産バリューチェーン構築

2021年～日本企業と提携した東アフリカ内外の海産物流通



取り組みの全体像



Phase 1~小規模FVCの構築(2021年)

- ✓ タンザニア～ウガンダ間のコールドチェーン整備

Phase 2~需要と供給への働きかけ(2022年)

- ✓ ウガンダにおけるシーフードの流通拡大
- ✓ ダルエスサラームにおけるシーフードの流通
- ✓ 加工品流通の検討と日本への輸出可能性調査
- ✓ 養殖に関する基礎調査
- ✓ 漁民向けの漁獲処理技術移転

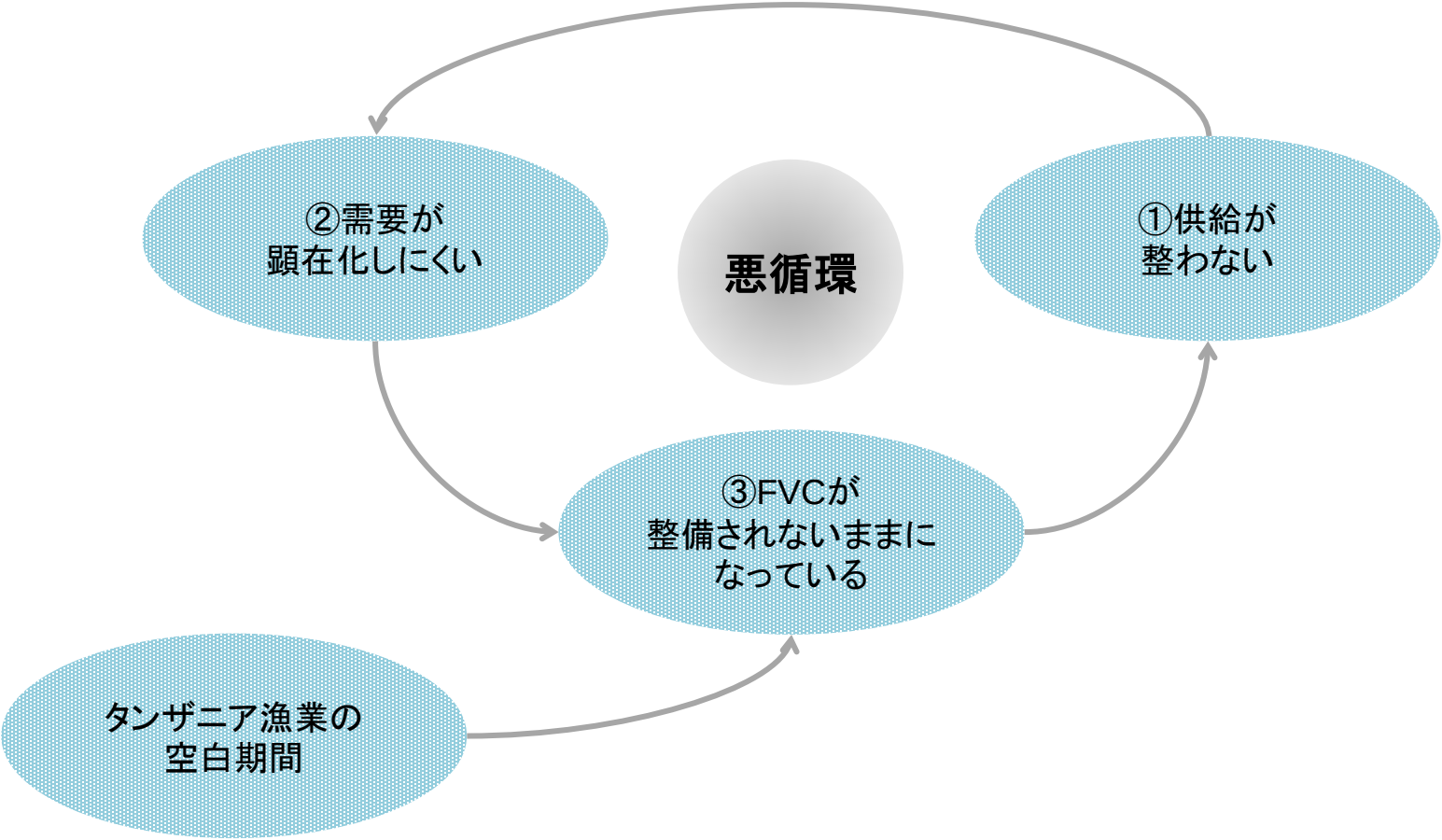
Phase 3~供給の強化及び新規需要の獲得 (2023年)

- ✓ タンザニア国内での水産加工場の整備など、供給能力の強化
- ✓ 現地機関と連携して水産業振興への着手

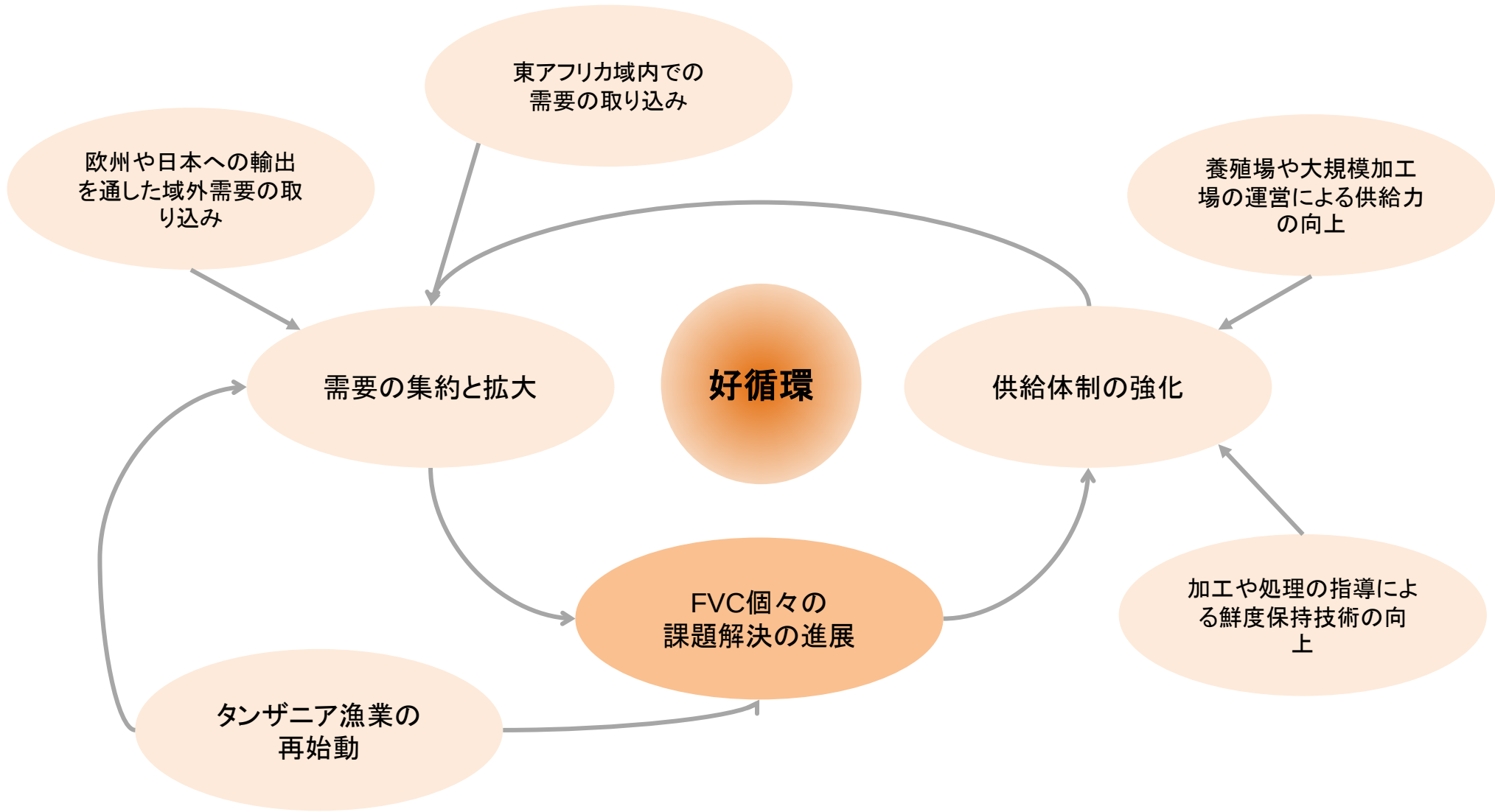
Phase 4~新たな文化の創造

- ✓ タンザニア内陸部への魚食文化浸透(たんぱく源確保)

水産物フードバリューチェーンの課題



課題解決の方向性





タンザニアのマグロを内陸ウガンダまでコールドチェーン輸送



タンザニアの海鮮を内陸ウガンダで提供





2023年度の構想

1. ザンジバルでの海藻加工工場建設・輸出
2. 現地専門機関やNGOとの協働による漁業人材育成



ザンジバル島はリゾート地として知られる



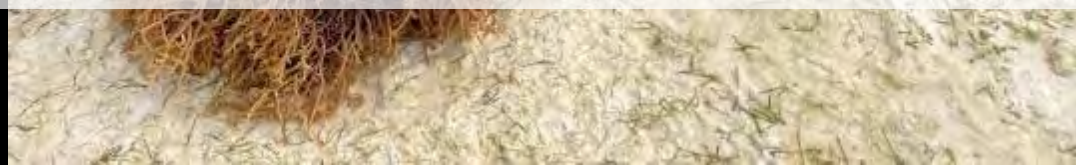
ローカルの漁師の生活



遠浅の沖で海藻を収穫して運搬する生産者の女性



遠浅の沖で海藻を収穫して運搬する生産者の女性





ダルエスサラーム市内の活気ある魚市場



漁はまだまだ効率的ではない



ポテンシャルをどう形に変えるか



COTS COTS LTD Headquarter

- Address: P.O. Box 10144, Kampala, Uganda
- E-mail: [info\(at\)cotscots.com](mailto:info(at)cotscots.com)
- URL: <https://cotscots.jp>
<https://www.facebook.com/cotscotsltd/>